

NPO 法人まちの寄り合い所うめばたけ 通常総会

4・23・2015

次第

- 開会挨拶、議長選出
- 第1号議案 2014年度活動報告
- 第2号議案 2014年度決算報告
- 第3号議案 監査結果報告
- 第4号議案 2015年度活動計画（案）
- 第5号議案 2015年度予算計画（案）
- 第6号議案 その他
- 閉会

はじめに：

NPO まちの寄り合い所・うめばたけが設立されて3年が経過しました。

震災後、何かをしたい、なんとかしたいとの思いで活動を始めて以来、会員皆さんの意欲的な参加と、全国の方々からの資金、物資、助言、など数多くの支援を頂き、今日まで活動を継続してこられたことに心から感謝いたします。

施設としても、従来からのプレハブ2棟に「市民協いしのまきハウス」が加わり、事務所機能の充実と各種イベントを組み込んだコミュニティ・カフェ事業が可能となりました。また、パソコン教室、朗読教室、寄贈図書を中心とした「こども図書室」、NPO5団体が協力して実施する「まあぶるたいむ」などの活動を通じ、こどもから高齢者まで幅広い世代が交流する場所として地域に定着してきました。

この度、石巻市・都市計画道路「七窪蛇田線」が平成30年度末完成の予定で建設されることになり、4月より測量作業が開始されています。この計画では「市民協いしのまきハウス」と駐車スペースが影響を受けるので、工事が始まる平成28年春までには移設や再建の計画を策定する必要があります。

この機会に、改めて平成24年2月作成の設立趣旨書（下記）を見ると、未だ道半ばであることが明確になり、今後とも思いを同じにする方々と一緒に活動を続けていきたいと強く思います。

会員皆様のなお一層のご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

代表理事 伊藤 壽朗

設立趣旨書

趣旨

高齢者・障がい者が家に閉じこもることなく互いに交流し、生活を楽しみ、生きがいにつなげることのできる場を目指し、平成12年、自宅の空地にプレハブ（24㎡）を建て「街の寄り合い所・うめばたけ」をスタートしました。以来、パソコン教室、英会話教室、朗読教室、麻雀教室、図書室の設置等を通じて近隣の人々と外国人と交流し、お互いの得意技やスキルを教えあったり、パソコンや麻雀を習得したり、英語の歌や朗読、福祉施設での読み聞かせなどの活動を継続してきました。また、無農薬・無化学肥料で育てた自家野菜を朝市で販売したり、近隣小中学校のプール清掃や用水路の浄化等の活動にも参加しています。寄り合い所としてのコミュニティ・カフェの運営実験も行いました。平成23年3月の震災後は、通院、役所の手続き、入浴、買い物などに一人では行けない人々（移動困難者）を支援している県外からの団体に対し、事務所や駐車場の提供などの支援を行っています。

震災から10カ月を経過して、復興のためには一人ひとりの善意や得意技では対応できる限界が見えてきており、個人や関連団体がそれぞれの専門分野の知識・経験を結びつけたり、活動を継続するために協力し合うネットワークが必要とされています。さらには、被災者の自立支援、就労支援などの分野においても、自助と相互助け合いのレベルを高めることが不可欠となっています。

このような状況を踏まえ、特定非営利団体を設立し、これまでの地道で個別な活動に加え、他のボランティア・グループやNPOとネットワークを組んで協力し合い、石巻市の復興と市民の生きがいづくりの為に寄与します。

設立に至るまでの経緯（省略）

平成24年2月25日